



～ ふるさとを愛し 自ら学び 未来に挑戦する建屋っ子の育成 ～

建小だより

養父市立建屋小学校 学校だより
令和5年2月24日 No.24



「スピーチコンテスト」で締めくくる「冬のオープンスクール」

2月17日（金）・18日（土）は、今年度最後のオープンスクールでした。底冷えする寒さの中、のべ129名の皆様に足を運んでいただき、子ども達の様子を参観いただきました。

1日目は、2時間の授業公開のほか、15分間のたきのやTime（学習タイム）の様子を見ていただきました。タブレットを使って自学自習する1年生の様子や、ハナ先生と一緒に英語を楽しむ5・6年生の様子、普段通りの授業の様子などをゆっくり参観していただきました。

2日目は2時間の授業公開に加え、新1年生を対象とした「体験入学」、本校目玉の「スピーチコンテスト」を開催しました。

「体験入学」では、5歳児と5年生とが交流するいわゆる「5・5交流」を計画しました。来年度入学予定の9名の園児と保護者に参加いただき、5年生が企画した遊びや歌、クイズや折り紙を楽しみました。入学前の不安や緊張が和らぐようにと、心を込めて準備をした5年生。次期リーダーにふさわしい実行力と心配りを発揮してくれました。

「スピーチコンテスト」は、1・2年生の元気なパフォーマンス（英語の歌）から始まりました。全員参加型にということで、1・2年生はオープニングショー、3・4年生はハーフタイムショーで盛り上げました。2回目とあって、5・6年生のスピーチは発音・なめらかさ・声の大きさ・アクションともにすばらしく、会場は拍手の嵐でした。ご来場・ご声援をいただきました多くの皆様に、心から感謝申し上げます。



♪ Good Job ♪

最後のオンライン英会話 「What season do you like?」

第1回は天気、第2回は食べ物と続き、最終となる第20回は季節の話題でした。イラストを見ながら「It's summer.」と答えたり、「どの季節が好きですか」の問いに「I like winter.」と答えたりする5・6年生の子ども達。小学生とは思えないすばらしい英語力です。テキストに沿った学習の後には、毎回1対1のフリートークがあるのですが、講師の先生によってはかなり難しい質問がくることも。それでも、担任の先生やハナ先生に助けをもらいながら、6年生は2年間、5年生は1年間、オンライン英会話を続けてきました。特認校ならではの特色ある教育活動を通して、子ども達は未来を切り拓くための確かな学力を育てています。

It's winter.



講師の先生と1対1の英会話



卓球 & 「なわとび Challenge」で体力アップを！



雪が降って外遊びができない冬は、つい家でゲームやテレビ、ごろごろダラダラ、となりがちです。そこで、休み時間に卓球で遊ぶことや、体育で「なわとび Challenge」に挑戦することを推奨しています。小学生の時に、遊びを通して「体を動かす習慣」を身につけておくことは、生涯にわたって健康でたくましい体をつくるための基礎となります。



なわとび Challenge		ねん	なまえ				
【種目(しゅもく)】	ひにち	①	②	③	④	⑤	⑥
		/	/	/	/	/	/
●りょうあしとび(まえ)	100						
●りょうあしとび(うしろ)	100						
●かけあしとび(まえ)	200						
●かけあしとび(うしろ)							
●あやとび(まえ)	50						
●あやとび(うしろ)							

「なわとび Challenge」のカードを使って、全校生が体力アップ中。ご家庭でも一緒にチャレンジしてみませんか！

星スクールカウンセラー・心の授業 ～SOSのサインが出せる子に～

11月に実施した学校生活・家庭生活アンケート(児童向け)の分析結果を、12月23日の学校だより(No.20)でお知らせしました。その中に、こんな質問と回答がありました。

Q: 「学校の話を書いた人にしますか」

よくする : 35.9%

ときどきする : 51.3%

ほとんどしない : 12.8%



Q: 「困った時や嫌なことがあった時、誰に相談しますか」(複数回答可)

友達 : 35.9% 家の人 : 59.0%

先生 : 53.8% その他 : 5.1%

相談しない : 25.6%



心の中は、よく風船にたとえられます。イライラや悲しみ、不安をため込み過ぎると、風船が破裂するように心も大爆発を起こします。私たち大人でも、ストレスのたまった状態が長く続くと心のコントロールが効かなくなり、周囲の人に当たり散らしたり、悲しくなってふさぎ込んだりするものです。

子どもは尚更です。子どもの場合、心の中が不安や悲しみ、怒りでいっぱいになっていても気づかなかつたり、上手に発散できなかつたりすることが多く、「突然泣き出す」「急に暴れ出す」などの衝動的行動となって表れます。心が爆発すると、強い疲労感や倦怠感が訪れ、自律神経の乱れや不眠症などの症状を引き起こす場合もあります。

そこで、子ども達には、心の中の状態＝「ストレス」や「怒り」の状態をチェックする習慣をもつことや、それらを上手に発散する方法について伝えていきたいと考えています。また困った時やつらい時は、身近な友達や家族、先生(担任の先生や養護教諭、スクールカウンセラーなど)に相談すると良いことについても、私たち大人が伝えてあげたいものです。

学校にはスクールカウンセラー(臨床心理士:心の専門家)が配置されています。建屋小学校にお越しいただくのは月1回ですが、個別相談のほかに学級対象の「心の授業」も行っているなど、子ども達の心のケアに努めていただいています。些細なことでも何でも結構です。ご相談がございましたら、気軽に担任または教頭までご連絡ください。